

ASUENE

アスエネ株式会社

- 資本金：83億円(資本剰余金含む)
- 設立：2019年10月
- 従業員数：410人(2025年4月30日現在)
- 本社所在地：〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX
虎ノ門一丁目ビルWeWork 4階

●事業内容：
CO₂排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「ASUENE」、サプライチェーンマネジメントプラットフォーム「ASUENE SUPPLY CHAIN」、GX・ESG人材特化型転職プラットフォーム「ASUENE CAREER」
グループ会社：カーボンクレジット・排出権取引所「Carbon EX」、脱炭素・非財務情報第三者検証・保証、アドバイザリーサービス「アスエネヴェリタス」

●URL：<https://corp.asuene.com/>

権取引を提供することで、企業の脱炭素・サステナビリティ経営を推進している。

現在、米国、シンガポール、英国、タイ等に拠点を持ち、導入社数は世界で3万社を超えた。直近ではM&Aを加速し、米国のAI搭載エネルギーマネジメントシステム企業であるNZeroを傘下に加え、AIによる電力

使用量が急増する中でエネルギーコスト削減と最適化を実現した。米タイム誌の「World's Top GreenTech Companies of 2025」や、世界8100社の中から優良100社に選出された。今後も日本発のグローバルナンバー1のクライメートテック企業を目指し、果敢に挑戦していく。

当社は2025年10月に創業7年目を迎えたクライメートテック(Climate Tech)であり、GX領域のスタートアップである。近年の猛暑が示す通り、気候変動は世界が直面する最大級のリスクであり、当社は「次世代によりよい世界を。」を使命に、大企業および中堅企業向けにCO₂排出量の見える化、削減、開示を支援するクラウドサービス「ASUENE」を提供している。

本サービスは3年連続で国内導入社数ナンバー1を誇り、自動化による工数削減、削減コンサル、ISSBやSSBJ等の国際基準に準拠した情報開示を一気通貫で支援可能だ。さらに「ASUENE SUPPLY CHAIN」により持続可能な調達を支援し、「Carbon EX」によりカーボンクレジット・排出



Forbes JAPAN共催「NEXT GX STREAM Forum 2025」より(左からForbes JAPAN藤吉雅春編集長、Terra Charge社長 徳重徹氏、当社代表取締役CEO 西和田浩平)



「ASUENE」のPC画面

MESSAGE

脱炭素・GX企業として
日本発グローバル
ナンバー1へ

ファウンダー・
代表取締役CEO

西和田浩平
にしわだ こうへい



当社は企業のサプライチェーンにおけるサステナビリティと脱炭素化の推進に向け、データの可視化、削減、開示、保証、監査を一気通貫で支援するソフトウェアやコンサルティングを提供しています。今般、経団連の使命である日本経済の発展と国民生活の向上に共鳴し、参画いたしました。特にCO₂排出量の多い大企業の課題を解決し、サプライチェーン全体の脱炭素化に貢献してまいります。米国、欧州、アジアの6カ国に拠点を展開し、日本発の脱炭素・GX企業としてグローバルナンバー1を目指し、日本経済の成長と企業の国際競争力向上に寄与してまいります。会員の皆さまと協働、また共創し、2050年ネットゼロの実現に挑戦してまいります。